

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・各直営店で売上、来客数の前年比が伸びてきている。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	単価の動き	・数か月前と比べ、単価の高い商品が動き出している。
	やや良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・客の必要なものしか買わない傾向はなくなっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・今月は台風に加え地震まで起きたが、観光客数はほぼ前年並みであり悪条件下では良いほうである。客当たりの土産物購入数にもやや回復の兆しがある。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・競合店との競争は落ち着いてきている。状況は徐々に良くなっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日昼間の来客数は少ないが、18時以降になると会社帰りの客が増加している。土日はスーツを新調した客がほとんど確実に靴も見に来るため、靴の購入客も増加している。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・9月前半から一気に秋らしい気候になり、婦人服、紳士服を中心に秋物が好調に売れ出している。その結果、店合計でも昨年を大きく上回る売上ペースとなっている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・暑さが続いており、飲料水が伸びている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・残暑の影響と大口受注の発生で販売量は好調である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・単価は相変わらずデフレ傾向でさほど上昇していないが、販売量には少し動きが出てきている。競走相手も同様な動きが出てきている様子である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今年の売上はずっと前年比でマイナスであったが、今月は人事異動に伴う送別会の団体予約が思ったより取れているため、売上は初めて前年と並んでいる。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・地域全体が愛知万博などのビッグプロジェクトに向けて活気づいている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、宴会、婚礼の問い合わせがあり、来客数は増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・浜名湖花博の終了間近の駆け込み需要が多い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・最近各地で台風や地震といった自然災害が多発しているため、高耐震アパートへの関心が高く売上が向上している。	
変わらない		商店街（代表者）	単価の動き	・従来商品の売上は減少しているが、愛知万博関連商品の売上は増えており、全体の販売量は変わっていない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・販売単価は上昇しているが、販売量がついてきていない。客は、続々と発売される新製品に関心はあるが、使いこなせないことを懸念している様子である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・自転車販売をしているが、スーパーでは輸入品が多く、安売りが幅を利かせている。当方では輸入品を仕入れるにもルートがわからず、困っている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・客は安い商品でもなかなか決めることができず、内容を細かく聞く。衝動買いもしない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・暑い日が続いているため、客からは秋冬物を購入する意欲が感じられない。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・購買単価は前年をやや上回っているものの、台風と猛暑の影響で来客数は減少している。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・気温の高い日が続いているため、例年なら今がピークである秋物衣料やブーツなどが動いていない。客は秋物を見には来るが、買う気がない。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・10代女性向けの婦人服はよく売れるが、紳士服がまだまだ売れない。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は横ばい傾向である。	

スーパー（店長）	お客様の様子	・今月は北海道物産展を実施しているが、珍しい物は高くても需要がある。しかし一般商品は、余分な物は買わないという状況が続いている。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は相変わらず前年の96%前後の推移である。一品単価の低下よりも一人当たり買上点数の減少のほうの影響が大きい。
スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・今年は台風など天候不順で雨が多く、自転車や徒歩で来店する客がかなり減少している。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・特売品、値打ち品を今必要な分だけ購入する消費行動が確立している。缶ビールでは、1缶単価が少し高くなっても、24缶入り1ケースよりも6缶パックの方が圧倒的に選択される。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・台風や天候不順にもかかわらず来客数は維持しており、売上も大きく前年割れしていない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・今月は昨年と同様に厳しくなく、売上は伸び悩んでいる。売上は前年を割り込んでいる。
コンビニ（売場担当）	それ以外	・残暑でお茶などの飲料売上が伸びているため、新規店では売上好調である。しかし既存店売上は前年並みに終わっている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少傾向で、売上が伸びていない。
衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・ミセス向け商品の売上が引き続き非常に悪い。総合スーパーの仕入れ担当者によると、ミセス衣料は前年比90%を切っている。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・9月の売上も前年比で微減である。客の様子をみても相変わらず慎重で、財布のひもは固い。
乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・同業者が廃業に追い込まれている。また深刻な価格破壊の状況になっている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・先月に続いて新車の購入目的で来店する客が多いが、他店との競合が激化しているため利益幅は減少している。その一方で、来店当日に即決する客も増えている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量以外は特に目立つ動きはない。
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・300万円を超える高級車が飛ぶように売れているが、それ以外の車はさっぱりである。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・単価の低下を販売台数でカバーできていない。利益確保は非常に困難な状況である。来客数は店頭の集客策が成果を上げますまずであるが、商談に苦労している。
自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・カー用品の競合は今や従来の用品店だけではない。ガソリンスタンドやカーディーラーまでもがより良い環境でのカーメンテナンスに力を入れ始め、参入してきている。競争はすべての面で激化している。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・持ち家住宅が伸び悩んでいる。ビル物件なども民間、公共ともに減少している。
その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・天候不順で客の購買力が落ちている。
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きは少し出てきているが、単価は安くなっている。そのため利益確保は難しい状況である。
その他小売〔総合衣料〕（店員）	お客様の様子	・例年に比べて残暑が続いており、同業者の間では冬物衣料の動きが悪いという話が多い。
スナック（経営者）	お客様の様子	・20日以降の連休の合間の平日のみ忙しかった。仕事が終わる時間が遅くなっており、客は疲れている。
観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・セットの夕食プランから割安なバイキングプランに客が移行しつつあり、単価が低下している。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・客室の稼働率は前年比マイナスであり、宴会の受注も芳しくない。
旅行代理店（経営者）	単価の動き	・来客数が減少している。
旅行代理店（経営者）	単価の動き	・低価格志向が続いているが、高齢者の一部は高価格商品を購入している。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・先月、先々月と比べて予約件数が減少している。10、11月の行楽シーズンを控えて、申込が少ないのは厳しい状況である。

	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ 予定していた販売量をある程度達成している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・ 月後半の連休、祝祭日前までは良いが、休み中は特に夜の店の休業が多く夜の売上が伸びないため、平均するとやや悪い。
	タクシー運転手	来客数の動き	・ 繁華街の人出やタクシー乗客の動きは、ここ2、3年ほとんど変化していない。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・ 今年度は新サービスを開始したこともあり、新規契約は順調に推移してきたが、ここに来てやや失速気味である。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・ 前年と比べて今月は若干ながら来場者数は増加している。しかしここ数か月、厳しい状態で推移していることに変わりはない。
	美容室（経営者）	それ以外	・ 台風が多く、特に高齢客は天候によって大きく左右されている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・ 住宅ローン減税が終わるが、駆け込み受注は特にみられない。
	住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・ 最近客との商談は長期化しており、良い返事もなかなかもらえない。資金計画で悩んでいる場合が多い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・ 通常ならこの時期は来客数が伸びてくるが、今年は極端に悪い。そのため販売量も伸び悩み、売上に影響している。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・ 夏前の客の様子と比較すると、最近は衝動買いが間違いなく減っている。購入する場合も非常に慎重である。
	商店街（代表者）	単価の動き	・ 家計を少しでも切り詰めたいという家庭が増えている。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・ 今月上旬は台風、地震があり、中下旬は気温が相変わらず高かった影響もあり、客の購買意欲は低下している。ビール、酒ともに中途半端な売行きであり、売上は昨年比で8%ほど減少している。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・ 今月は天候不順で、小売には最悪な状況である。特に土日祝祭日は最悪で、他店に聞いても悪いの一言である。
	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・ 残暑の影響で秋物が売れず、営業訪問しても客に購買意欲は感じられない。悪い時に戻ったような状況である。
	スーパー（店員）	競争相手の様子	・ 1か月ほど前に競合店がオープンし、それ以降はかなりの打撃を受けている。既存の競合店も週末、平日にかかわらず企画を打ち、チラシも頻繁に入れている。周辺エリアは激戦区になっており、来客数、売上ともかなりダウンしている。
	スーパー（店員）	単価の動き	・ 今月は毎週のように台風が来ているため、市場の商品が高騰している。販売量は減少し、客単価も低下傾向である。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・ 1人当たりの買上点数は0.5個減少している。来客数、客単価ともダウンしている。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・ 残暑が厳しいが、昨年は同じ気温で夏物商品が売れたが、今年は売行きが悪い。秋冬商品が売れているわけでもなく、販売量は全体的に落ち込んでいる。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 夏の初めは猛暑で売上はかなり伸びたが、今月は台風などの影響で来客数は減少している。浜名湖花博も期待していたほどには周囲の店に金が落ちず、伸び悩んでいる。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・ 台風で雨が多く、9月に入って販売量は極端に減っている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・ 雨の日が多く、水物はソフトドリンク、ハードドリンクともに低調である。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・ 単価の上昇もあり全体としては昨年とあまり変わらない動きであるが、来客数が減少している。同業者もほぼ同じである。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ これまで増加傾向にあった週末の来客数が平日同様に減少し始めている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ 例年涼しくなると来客数は減少するが、今年は9月後半から急に来客数が減少している。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ 台風が何度も来た影響で来客数が減少している。

		スナック（経営者）	来客数の動き	・9月は例年どおり暇であるうえに、店の周囲の環境も客引きが増えるなど最近徐々に変わりつつあり、悪化してきている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・夏以降暑さのため低調になり、涼しくなっても客足は伸びていない。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数が減少している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店サイクルが伸びている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年なら忙しい時期であるが、客は必要な時にしか来店しない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告を打っても反応がない。客は価格が安くて良い物件を探している。
	悪くなっている	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ないだけでなく、客に購買意欲がない。新規購入がない。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・ここ1、2年で美容室の数が増えており、客は分散している。
		設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・同業他社が倒産している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・回復のスピードは鈍っているものの、販売量は多少良くなっている。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・大手縫製企業などで、設備更新の動きが出てきている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は増えている。ただし中国の需要が拡大している影響で原材料が不足気味である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・当社の主要荷主のうち3割程度で荷動きが良くなってきている。荷主からは今後荷動きが良くなるため、低床の15トントラックを増車して欲しいとの要請もある。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の動きは活発であり、前年よりも早いタイミングで需要が伸びている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注価格や販売価格の動き	・契約単価の値上げが可能になっている。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量は前年比105%程度であるが、収益面では前年と変わらない。
		印刷業（営業担当）	取引先の様子	・取引先からの受注量は前年同期比で減っている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売数量は増加しているが、原材料の値上がり分の価格転嫁が進まない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売においては、監視カメラ市場は伸びているが、海外からの廉価カメラの攻勢により競争は激化している。今月の売上は3か月前と比較し5%の減少であるが、傾向としてはほぼ横ばいである。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・引き続き付加価値の高い商品が売れており、数量も底堅い。
		輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・荷物量は横ばいである。同業他社の荷物量もさほど伸びがないと聞いている。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新製品の広告などの引き合いが出てきているが、具体的な話にはなかなかない。
		広告代理店（経理担当者）	取引先の様子	・取引件数に変化はない。
		公認会計士	それ以外	・大企業の景気は回復しているようであるが、顧客の中小企業の業績は好調ではない。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・企業は慎重な姿勢ながら、新設備の導入には相変わらず意欲的であり、多くの引き合いがある。
		その他非製造業〔デザイン〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品、従来商品とも、出荷は順調である。
	やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の仕入先からは値上げ要請がある一方で、販売先からは価格転嫁どころか値下げ要請が続いている。

		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・競合他社の新開発品の評判が良いため、受注量は減少している。
		輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・主力取引先が再建途上にあるため、当面厳しい状況が続く。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・9月に入り荷動きはやや低調になっている。例年に比べて天候不順なことや、度々到来する台風にも影響されている。
		企業広告制作業（経営者）	取引先の様子	・受注量は減少している。
		広告代理店（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・販売量はますますであるが、価格競争が続いている。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比較して、3.3%の減収、18.3%の減益である。
		非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料が高騰してきているが、販売価格にはなかなか転嫁できない状態である。受注量も増加しない傾向が引き続き続いている。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・企業からの紹介予定派遣、人材紹介の受注が増加している。正社員の採用も活発化している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前月に続き派遣オーダーは増加している。特に自動車関連企業では安定的に増加している。人材確保ができず成約に結び付かないケースも顕著になってきている。
		職業安定所（所長）	採用者数の動き	・企業では人手不足である。求人してもなかなか採用できない状況が続いている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は対前年比18%増である。業種別では、製造業18.5%増、建設業8%増となっている。特に電気機械器具製造業、金属製品製造業、輸送用機械器具製造業、一般機械器具製造業が顕著な伸びを示している。
やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前に比べて月間有効求人数が5.0%増加し、月間有効求職者が9.1%減少しているため、0.29ポイント上昇の1.23倍である。前月に比べると0.01ポイント上昇している。	
		採用者数の動き	・新規求人は、前年同期比で、建設業、卸小売業でそれぞれ11%、3.5%減少しているが、製造業、サービス業ではそれぞれ43%、5.6%増加している。全体では4.2%の増加である。	
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・大量の通年採用をしている大手各社の採用が、下半期を迎えて本格化している。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	・製造業が多い地区の正社員求人は続伸しており、求人難が続いている。しかし別の地区では規模が大きい製造業が少なく、非正社員中心の求人である。全体的にみると、正社員求人よりも非正社員求人のほうが多い。非正社員の報酬が増える気配もみえない。	
		求人数の動き	・求人件数は4月以降増加傾向にあり、夏場も増加しているが、今月は大きな変化はない。	
		求職者数の動き	・求職者数は減少傾向にあるものの、パート希望の求職者は増加傾向にある。	
		周辺企業の様子	・自動車関連産業では好調であるが、縫製、染色などの業種では輸入製品に市場を奪われ事業の縮小、廃業をする企業もあり、リストラによる失業者が絶えない。	
		求職者数の動き	・新規求職者数は減少傾向にあるものの、より良い求人条件を求めての自発的に転職を希望する人が増加している。その一方で、求人の選考基準は相変わらず厳しい。	
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は3か月前とほぼ同数である。	
		求人数の動き	・新規求人は前年同月比では若干のプラスであるが、前月比では主要産業の全てでマイナスとなっており、新規求人は伸び悩んでいる。特に運輸業、サービス業の落ち込みが大きい。	
	悪くなっている	-	-	-